

北陸地方整備局
記者発表・資料配付

・記者発表 ・資料配付 日 時	平成16年12月4日 15時00分
-----------------------	----------------------

件 名	「平成16年新潟県中越地震」災害対策状況について(第52報) - 東竹沢地区の仮設排水管からの排水を開始します -
-----	--

取り扱い	発表をもって解禁
------	----------

発表先	新潟県政記者クラブ 新県政記者クラブ
-----	-----------------------

発表概要	別紙のとおり
------	--------

問い合わせ先	北陸地方整備局	TEL(代表)025-266-1171	
	所 属	氏 名	電 話
	河川部河川計画課長 中越地震復旧対策室 建設専門官	守安 邦弘 上原 信司	(内3611) (内6192)

東竹沢地区の仮設排水管からの排水を開始します

- ・ 越水による河道閉塞決壊に対する安全度が向上します
- ・ 今後は、本格的な積雪期までに、仮排水路工の完成を目指します

平成 16 年 12 月 4 日
北陸地方整備局

1. 東竹沢地区の河道閉塞について、越流による決壊を防ぐことを目的に、貯まった水を「緊急排水路(12台のポンプ(最大排水能力6m³/s。呑口高さEL(標高)約155.5m))」で下流に排水し、水位の上昇を抑えてきました。最も水位が上がったとき(11月17日にEL157.76m)と比較し、現在は約2m以上低下しています(4日12時現在でEL155.23m)。
2. 本日4日、「仮設排水管(満管時流量10m³/s。呑口高さEL約155m)」の設置が完了しましたので、本日より「緊急排水路」に代わり、「仮設排水管」による排水を行います。
3. 「仮設排水管」の完成により、EL155mを超える水位の水は、ポンプを使わなくても流下する上、排水能力も現在設置しているポンプを上回るため、越水による決壊に対する安全度は向上します。
4. 今後は、開水路型式の「仮排水路」の整備を、12月下旬までに実施する予定です。「仮排水路」の呑口部高さは、施工中・施工後の地すべり土塊の安定性の観点から、現時点で積雪期までに技術的に最大限施工可能なEL149.5mを当面の目標としています。(地すべりの安定状況、気象等現場状況に即して変更することもございます)
5. なお、施工にあたっては、地すべり状況を監視するなど、現地作業の安全に留意しながら実施致します。
6. また、榑木地区については、11月30日より河道閉塞箇所の開削作業に着手し、浸水家屋(4戸)の解消が図られつつあります。

問合せ先：北陸地方整備局 代表 025-266-1171

河川部河川計画課長

守安邦弘(内3611) 携帯 090-3343-2835

中越地震復旧対策室 建設専門官

上原信司(内3616) 携帯 090-8599-5122

(注)非通知設定では着信できません

東竹沢地区 河道閉塞応急対策計画平面図



工種	単位	数量	2004						2005			
			11月			12月			1月		2月	
			上流	中流	下流	上流	中流	下流	上流	中流	下流	
緊急排水路 〔ポンプ排水〕	台	12	—			—			—		—	
仮設排水管 〔ポリチューブ管φ100×4.0〕	本	5	—			—			—		—	
仮排水路	处	1	—			—			—		—	

